二学年だより

Ｎｏ，１１
令 和 ３年１１月　１日
太宰府市立学業院中学校
文　責　：　江崎　彰泰

修学旅行の準備が始まりました

～少しずつの不満足、そして、優しさを持った学級・学年に～

修学旅行に向けて本格的に準備が始まりました。実行委員（リーダー）が決まり、これから班編成、班の係を決めていきます。新しい班はどうなるでしょうか？自分の思い通りになって大満足？それとも、思いがかなわず不満足？

だいたい、学級に４０人もいて、みんなが満足できる班編成なんて不可能じゃないかと思います。一部の人たちにとって満足な班編成が出来たとします。でも、反面、それと同じくらいの人たちが、不満足の気持ちをもっていると思ってください。学級集団の中では、それが当然のことなのです。

繰り返しますが全員の人が満足する班編成は不可能のような気がします。ではどうすればいいのか・・・？

みんなが少しずつ不満や不自由さを持ってみたらどうでしょうか。

「それぞれが少しずつの不満や不自由さを持った方が、みんな幸せになれるんですよ」

これは、ある人の言葉です。自分さえ良ければいいという雰囲気では、周りのことを考える優しさがなくなってしまいます。みなさんはどう思いますか？

本来、人間は大なり小なり何らかの不自由さを持っています。その**不自由さがあるからこそ助け合いが生まれ、協力することができる**のではないでしょうか。

何の不自由も無いのが当然と考える人と、不自由があるのが当然と考える人。

不自由さを嫌がる私たちは、何か大切なものを失っているのかもしれません。

さあ、新しい班のメンバーと助け合い協力しながら、修学旅行に向けて準備を進めていきましょう。

修学旅行実行委員(リーダー)の紹介

実行委員長：芳田 楽(４組)　副委員長：新村 生(４組)

係名	班長	学習	生活	整美	保健体育	図書文化
係長	平川 陽輝（８組） 友田 光咲（１組）	小川 敦也（６組） 伊藤 千尋（６組）	磯田 奏和（１組） 永尾 晴渚（７組）	桑野 朔弥（２組） 磯部 沙英（３組）	遠藤 慎斗（５組） 野田 美琴（８組）	天本 琉碧（３組） 古賀 美稀（２組）
委員長	志比田 美央（７組）	小川 大地（７組）	山村 つぼみ（５組）	髙山 朋花（２組）	宮崎 晶成（５組） 園田 心乃（８組）	脇山 愛梨（５組）

筑紫区新人大会

女子卓球部　優勝
男子卓球部　４位

筑前大会出場

保護者のみなさまへ

11/5(金)は、授業参観を予定しています。お忙しいとは存じますが、ご参観の程よろしくお願いいたします。また、中間考査に向けて、お子様への叱咤激励もお願いします。

中間考査に向けて

12(金)は中間考査です。前期の頑張りを伸ばし、失敗を取り戻すチャンスと考えて取り組んでいきましょう。必ずやって欲しいのが次の①～③の事柄です。

①　テスト範囲の教科書を声に出して読む
- 読みながら、読めない文字、意味不明の語句、覚えていない公式や分からない問題をチェックする。

②　授業中にとったノートやプリントを読み直す
- 重要と思える記述、意味不明な記述は要チェック。
- 休んだり、集中できなかったりして欠落している部分は友達に見せてもらう。

③　授業で使ったプリントやワーク、資料集をチェックする
- プリントは全部そろっているか。なければ友達や先生に頭を下げて…。
- できる問題はどれか、できない問題はどれかをチェックする。
- 重要語句や意味不明の語句、公式をチェックする。

１教科につき１時間くらいこれをすると「テスト範囲の全体像」と「自分の弱点」が見えてくるはずです。そして、あとはひたすら勉強（努力）あるのみです。

何を勉強するのか…自分が**「理解していないところ」**、**「覚えなければならないところ」**
どう勉強するのか…
①「理解していないところ」を**「理解できる」ように勉強する。**
　→自分で教科書やノートを調べる。
　→調べても分からないときは、「先生」や「友だち」に質問する。
②「覚えなければならないところ」を**「覚える」ように勉強する。**
　→覚えるときは、**「目」（見る）**と**「手」（書く）**と**「口」（声に出す）**を同時に使う。

勉強しないと心が栄養失調になる

瀬戸内寂聴

勉強とは食事と同じですよ。人間は食事をして体に栄養を取り込んで、成長しますよね。勉強とは知識を取り込んで頭や心を成長させることです。勉強とは、いわば「心の栄養」を取ることです。

食べるものをしっかり食べていれば体は大きくなりますが、勉強をしていないと中身のない人間になってしまいます。食べものが足りないと、体はガリガリにやせこけて、何かをしたくても体力が続かず、すぐにケガをしたり病気をしたりしてしまいますよね。それでは満足な人生を送ることはできません。食べ物の足りない国の子どもたちがそういう姿になって苦しんでいるのをテレビなどで見たことがあるでしょう。あれを「栄養失調」と呼びます。

では「心の栄養」が足りないとどうなるかわかりますか？「心の栄養失調」になるのです。心の栄養失調とは次のような状態です。

まず想像力がなくなります。想像力がなければ将来の夢を思い浮かべることもできません。将来の夢を思い浮かべることができなければ頑張ろうという気持ちも湧いてきません。想像力がないと、どういうときに自分はうれしいと感じるのか、悲しいと感じるのか、自分の気持ちも分からなくなります。想像力がないというのは、どんなことをしたら友達が喜ぶのか、傷つくのか分からないということですから、何が正しいことで何が悪いことなのかの判断もできなくなります。正しいことと悪いことの区別がつきませんから、正しいことのために戦うこともできません。正しいことをする喜びが分かりませんから、本当の幸福を感じることもできません。それどころか、自分が幸せなのか不幸なのかすら判断がつかないということです。

だから子どものうちにしっかり勉強して「心の栄養」をたっぷり取っておきましょう。